

令和6年度 事業所における自己評価結果(公表日:令和7年3月31日)

		チェック項目	取り組み状況
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	ゆとりをもった適切なスペースです。活動内容の工夫、用具・玩具の配置に配慮しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	適切な職員配置となっています。今後もお子さんの状況に応じ支援体制をとよう連携を図っていきます。グループやお子さんの様子によって、職員を増員し、タイミングに合わせた療育をしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	活動によっては衝立等で仕切りなど工夫しています。絵カードや写真を使うなど、視覚的にわかりやすくしています。今後も動線や仕切りなど工夫しながら支援していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか	毎日の清掃と定期清掃を行っています。感染症予防のため換気やクラス終了の都度、消毒を行っています。心地よく過ごせるよう環境設定をしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	年度当初に目標を設定し、中間と年度末に自己評価を行っています。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	毎年、保護者向け事業所評価を実施し、意向を踏まえ事業改善につなげています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	職員及び保護者に向けた事業所評価を実施し、その結果を踏まえた内容をホームページで公表しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	令和6年度に第三者評価を実施いたしました。令和7年4月に福祉サービスにて、第三者評価の結果が公表されます。今後の業務改善に繋げていきます。
	⑨	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部講師による講習や特別区の研修などに参加し、学んだことは会議等で報告、共有しています。今後も専門研修への参加機会を設け、質の向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	お子さんの状況や保護者のニーズ、専門職の発達評価等を踏まえ、連携を図りながら個別支援計画を作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	統一したアセスメントツールを使用して個別支援計画を作成しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	児童発達支援ガイドラインに基づき、個別支援計画を設定一人ひとりにあわせた支援内容を設定しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	面談を実施し、個別支援計画に沿った支援を定期的に確認しながら行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	グループ担当全員でプログラムの検討、立案を行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	月ごとに活動内容を見直し立案しています。大きな変化に戸惑うお子さんもいるので、小さなアレンジを加えるなどお子さんの状況に応じて臨機応変に工夫、検討をしています。

		チェック項目	取り組み状況
適切な支援の提供	①⑥	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	小集団活動の中、必要に応じて個別活動も組み合わせる等して支援計画を作成しています。
	①⑦	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎回支援開始前にプログラム内容や役割の確認、準備を行っています。
	①⑧	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	開始前、終了後に打ち合わせや振り返りを行い、その日の支援内容や保護者の意見を共有し次回に生かしています。
	①⑨	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	記録のポイントを整理した様式を使用し、支援の検証・改善に努めています。個別課題について一目で分かるよう様式を検討し、よりよい支援につなげていきます。
	②⑩	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的にモニタリングを行い、必要に応じて個別支援計画の修正を行っています。
関係機関や保護者との連携	②⑪	障害児相談支援事業所のサービス調整会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	子どもの状況に精通した職員が参加しています。
	②⑫	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	家族支援を視野に入れながら、必要に応じて関係機関と連携し支援を行っています。
	②⑬	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	必要に応じて園訪問や電話などで情報共有し、連携して支援を行っています。
	②⑭	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	スムーズに移行できるよう、就学相談の資料、支援シートを作成したり、就学相談会に参加することで情報の共有を図って支援しています。
	②⑮	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	他機関による巡回相談を行い助言を受けたり、必要に応じて医療機関や療育センター等と連携し、支援に繋げています。
	②⑯	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	幼稚園や保育園などに在籍している利用児が多いので交流の機会は設けていません。今後もふれあい館やひろばなどの紹介を行っています。
	②⑰	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	子ども家庭部の会議や自立支援協議会に参加しています。
	②⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	面談や、支援終了後にフィードバックを行い、共通理解を図っています。
	②⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	年に数回の家族支援講座を開催したり、ペアレントトレーニングを職員が行えるよう研修や実践を通してスキルを習得しています。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明を行っています。丁寧な説明に努めていきます。
	③⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	児童発達支援ガイドラインの説明とこれに基づき作成した個別支援計画書を提示しながら説明し、同意を得ています。
	③⑫	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	終了後のフィードバックの際に相談に応じ、面談等設定し必要な助言と支援を行っています。
	③⑬	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会はありませんが、個別訓練の理学療法クラス保護者会を実施し、交流・情報交換の機会を設けました。4年度もコロナウイルス感染予防のため、5～6月頃実施しているお子さんが就学した保護者との交流会は開催は見合わせました。

		チェック項目	取り組み状況
保護者への説明責任等	③④	子どもの保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	保護者からの相談や申し入れには迅速かつ適切に対応しています。また、必要性がある時は時間を設けるように努めています。
	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	毎月発行のたんぽぽ通信や必要に応じてお知らせを配布したり、掲示を行っています。
	③⑥	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	個人情報取り扱いやセキュリティに関する研修を毎年受講し、意識を高め取り扱いには十分注意をしています。
	③⑦	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	聴覚障害のある保護者とは筆談や手話言語通訳タブレットを、外国籍の方には多言語タブレットを使用するなど工夫してコミュニケーションを図っています。
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	区民に講演会、講座などの案内を周知しています。今年度もコロナウイルス感染予防のため施設公開の開催は見合わせ、区役所で施設紹介のパネル展を開催しセンターへの理解を図っています。
非常時の対応	③⑨	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	マニュアルを作成し、職員に周知しています。保護者へは重要事項説明の際、説明を行っています。荒川警察署指導の下、防犯訓練を実施しています。
	④⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	毎月避難訓練を行っています。毎月年2回、同じ建物内の他課との合同訓練を行い、災害に備えています。
	④⑪	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	契約時に看護師も含め確認、情報共有し、必要に応じて医師の指示書をいただくなどしています。聞き取った情報は記録しファイリングしています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約時に確認しています。10月より給食開始にあたり、給食マニュアルを作成し、アレルギーについて職員全員で再確認しました。おやつについてはアレルギーのあるお子さんも食べられるものを提供しています。アレルギーに除去のお子様の保護者さまには、毎月確認していただいています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業内で共有しているか	事例があれば随時共有し、事例集を作成しています。
	④⑭	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	区等で実施する研修へ代表者が参加し職員に周知したり、年1回は所内で研修の機会を設け適切に対応しています。
	④⑮	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	危険を伴う場合を除き、身体拘束は行わないこととしています。